

2017 長良川河口堰の開門調査もとめて

市民学習会

よみがえれ 長良川

予約不要・参加費無料（資料代 500 円）

第3回 岐阜の魚と長良川の今

8月19日 (土) 午後 2 : 00 ~ 4 : 30 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ
岐阜市今沢町 18 番地 058-265-4141

- 講演 **岐阜県の魚類** - 岐阜県の全魚種と会うために -
この夏、発刊の図鑑「岐阜県の魚類」（向井貴彦 編著）の内容に触れた話が聞けます。

講師 向井 貴彦 岐阜大学准教授

- 長良川下流域観察会報告

報告 武藤 仁 長良川市民学習会事務局長

Free
the
Nagara
River



主催 よみがえれ長良川実行委員会

(連絡先) 武藤 090-1284-1298

<http://dousui.org/>

講師のプロフィール



向井 貴彦

岐阜大学准教授（魚類学）

1971年生まれ。滋賀県出身。生物の多様性を遺伝子解析と野外調査によって研究し、現在の生物群集の成り立ちと現状を知るとともに、人為的な環境改変からの保全を視野に入れた研究を行う。汽水域や淡水域の魚類を中心とした水辺の動物を主な研究対象とする。

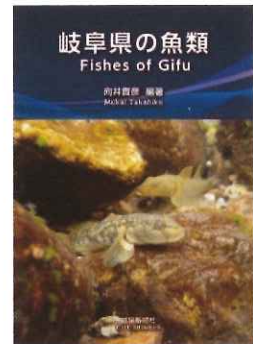
「岐阜市版レッドリスト」作成では魚類を担当。愛知県の長良川河口堰最適運用検討委員として活躍している。

図鑑「岐阜県の魚類」のご紹介

岐阜県で記録された全110種の魚類（在来73種、外来37種）を網羅し、地域に根差した情報と最先端の研究知見を取り入れた究極の魚類図鑑です。

地理的変異が豊富な淡水魚を正確に紹介するため、岐阜県内で採集・撮影された個体の写真のみ使用。美しい水中写真を多用し、見て美しいだけでなく、稀な種については分布の証拠となる標本写真を掲載。近年分類された種については、DNA解析で同定した個体の写真が用いられています。いくつかの魚種については正確に同定された写真が掲載されるのは世界初です。

岐阜の清流に住む多様な魚たちの世界を知ってもらいたいという、研究者のこだわりと願いが結実した一冊です。



向井貴彦 編著
岐阜新聞社 発行

会場において、ご希望の方に著者紹介価格3,000円で販売します。

長良川下流域環境観察会

● 報告 長良川市民学習会 事務局長 武藤 仁

2010年に長良川河口堰の開門をめざす「市民による豊かな海づくり大会」を開催されました。長良川市民学習会は、それ以来毎年河口堰周辺の環境観察会を行っています。現在この観察会は、2010年に愛知県で行われた生物多様性条約 COP10 を機に始まった「湿地のグリーンウェイブ」の参加イベントとして行っています。韓国・平昌で行われた COP12 にも NGO として参加し、長良川の環境実態を報告し開門をアピールしました。観察会の様子は、2012年に韓国の KBS(公共放送)でも放映されました。本報告では、その映像も紹介したいと思っています。

